

令和3年6月23日

「みずから」変わる

「みんなで」変わる

「ふくい」変わる

ふくい  DX

福井県未来戦略課 DX 推進室

担当者：角、河合

電話：0776-20-0258

代表(内線)：0776-21-1111 (内線 2311)

メール：mirai-senryaku@pref.fukui.lg.jp

県、県警、あいおいニッセイ同和損害保険㈱の3者による「デジタル時代の新たな交通安全対策」にむけた実証が SmartCityX の主要プロジェクトの一つに決定。

県では、「スマートふくい」の実現に向け、全庁を挙げて生活・産業・行政のDXの検討・推進に取り組んでいます。県は昨年10月、デジタル技術等を活用し、生活者目線で地域課題の解決を目指すグローバル・オープンイノベーション・プログラム「SmartCityX」に参画し、地域課題や実証フィールドの提供等で協力することとしています。

また県警では、令和3年の「福井県警察運営指針」において、業務の効率化・デジタル化など治安基盤の充実強化に取り組むこととしています。

このたび、県と県警、および同プログラムに参画するあいおいニッセイ同和損害保険㈱の3者が実施予定の「デジタル時代の新たな交通安全対策」にむけた実証が SmartCityX の主要プロジェクトの一つに決定しましたのでお知らせします。

記

1 SmartCityX の概要

トヨタ自動車のグループ会社や出光興産などの国内大手企業（13社）が、世界中のスタートアップと提携し、自治体や住民の協力を得ながら、生活の利便性を向上させる技術等の社会実装を目指すプログラム（米サンフランシスコに拠点を置くベンチャー投資企業「スクラムベンチャーズ」と渋谷区に拠点を置く「スクラムスタジオ㈱」が仲介）。

6月23日の成果発表会で、6件のプロジェクトを進めていくことを発表。

2 デジタル時代の新たな交通安全対策～テレマティクス技術を活用した新たな交通システム～

あいおいニッセイ同和損害保険㈱がもつテレマティクス技術を使って、県内ドライバーの運転データを取得し、事故が発生する恐れのあるエリアを抽出・分析。県と県警がデータの有用性を確認した上で、実証で取得したデータと警察が持つ事故データを掛け合わせて事故の発生を未然に防止するなど、先手先手の交通安全対策を目指す。（実施時期・場所など実証実験の詳細は、今後関係者間で協議した上で決定）

※ 詳細は、SmartCityX 公式ホームページ（以下 URL）をご確認下さい。

<https://www.smartcity-x.com/>

（添付資料） ①SmartCityX の概要

②「デジタル時代の新たな交通安全対策」に向けた実証

1 概 要

トヨタ自動車のグループ会社や出光興産などの国内大手企業(13社)が、世界中のスタートアップと提携し、自治体や住民の協力を得ながら、生活の利便性を向上させる技術等の社会実装を目指すプログラム(米サンフランシスコに拠点を置くベンチャー投資企業「スクラムベンチャーズ」と渋谷区に拠点を置く「スクラムスタジオ株式会社」が仲介)。

デジタル技術で生活利便性を向上させるプランを募集・選考・ブラッシュアップし10程度のプロジェクトを創出、スタートアップへの出資や合併会社の設立を通じ、実用化を目指す。

2 パートナー企業(8社)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

出光興産株式会社

ウーブン・プラネット・ホールディングス株式会社(トヨタ自動車グループ会社)

日本ユニシス株式会社

株式会社博報堂

東日本旅客鉄道株式会社

積水化学工業株式会社

西日本電信電話株式会社

3 サポーター企業(5社。パートナー企業とともに事業開発に参加)

味の素株式会社

株式会社ジェーシービー

スズキ株式会社

株式会社ディー・エヌ・エー

ライオン株式会社

4 オブザーバー自治体(地域課題の共有、実証フィールドの提供)

福井県、三重県

東京都渋谷区、茨城県鹿嶋市・鹿島アントラーズFC、大阪商工会議所

5 スケジュール

2020年8月26日～2020年11月30日 スタートアップ募集期間

2020年12月 ～2021年 1月 スタートアップ選考期間

2021年 2月 ～2021年 5月 メンタリング・事業開発

2021年 6月23日 成果発表イベント

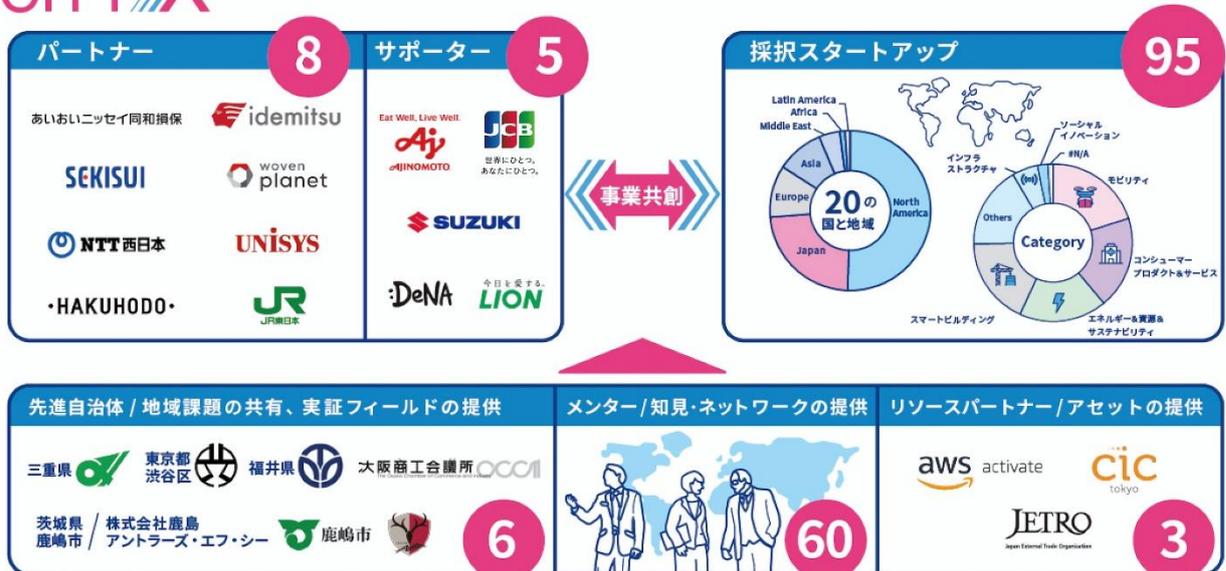
6 スタートアップ主要6領域

| | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|
| 1 コンシューマー プロダクト&サービス  <ul style="list-style-type: none"> ・小売 ・フィンテック ・エンターテインメント ・医療・介護 ・教育 ・リモートワーク 等 | 2 モビリティ  <ul style="list-style-type: none"> ・次世代ハードウェア ・自動運転 ・ナビゲーション ・物流 等 | 3 スマート ビルディング  <ul style="list-style-type: none"> ・スマートホーム ・ビルマネジメント ・保安・セキュリティ 等 | 4 エネルギー&資源 &サステナビリティ  <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー ・ユーティリティ ・素材 ・食糧・水資源 等 | 5 インフラストラクチャ  <ul style="list-style-type: none"> ・通信 ・サイバーセキュリティ ・公共サービス ・都市計画 ・コミュニティ マネジメント 等 | 6 ソーシャル イノベーション  <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ &インクルージョン ・公共政策 等 |
|--|--|--|--|---|--|

<プロジェクト全体像>

SMART
CITY>X

Organized by  SCRUM VENTURES  SCRUM STUDIO



メンター : 専門的な知見やネットワークを有し、スタートアップに対する助言などを行う。国内外から 60 名の専門家が参画

リソースパートナー: クラウドサービス、オフィス・イベントスペース、DX 推進に向けた国内外のスタートアップ・大企業とのネットワーク等を提供

SmartcityX：「デジタル時代の新たな交通安全対策」にむけた実証

- SmartcityXを通じて、県・県警・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の3者で、**デジタル時代の新たな交通安全対策**に向けた、「**テレマティクスタグ***」を用いた**実証**を行います。
- SmartcityXプログラム発表会（6月23日）で、**主要プロジェクトの一つとして発表**。

※ドライバーの運転データをリアルタイムで取得できる電子機器

<SmartcityX>

トヨタや出光等の国内大手企業（13社）が、世界中のスタートアップと提携し、地域課題の解決を図るプログラム。本県も、昨年10月、同プログラムに参画

主な実証内容

□ 県内ドライバーにテレマティクスタグを配布し、実際の運転挙動データを取得。危険運転*を示す交通安全マップを作成

<ヒートマップのイメージ>

* 急ハンドル・急ブレーキ、速度超過、スマホながら運転等（あいおいから県内の保険契約者データも提供される予定）



- 隠れた「危険エリア」を見える化し、警察のデータと連携・補足
- 事故実績をもとにした事後対応ではなく、リアルな運転データから予測される危険エリアに対して**先手先手の交通安全対策**を進め、**事故を未然に防ぐ**

これまでの対策

事故が発生
↓
事故発生エリアを
取締・注意喚起

デジタル時代の対策

事故が発生しそうな
エリアをデータから予測
住民と連携して対策
↓
事故発生を未然に防ぐ

実証の考え方

- 「交通死亡事故全国ワースト2位」が課題。 **「死亡事故25人以下」の達成**に向け、デジタル技術の活用を図る
- 県内ドライバーの運転データをもとに、事故が発生する恐れのあるエリアを抽出・分析し、 **「今後、事故が発生し得るエリア」等における啓蒙・取締等の実施を検討**

福井県・県警の課題

<現状・課題>

- 世帯あたりの**マイカー保有数 全国1位**
- 人口10万人当たりの**死者数 全国ワースト2位**
- 高齢ドライバーの増加



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

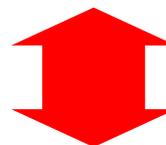
<技術・ノウハウ>

- **テレマティクス技術**を用いた運転挙動データ取得
- ドライバーの運転診断サービス

実証（令和3年度～）

<警察の有するデータ>

- **事故実績**
(発生場所・時間帯、天候や路面、標識順守の状況等)



データ連携・補足
取得データの有用性検証

<実証を通じて取得するデータ>

- ドライバーの**実運転データ** (事故発生し得るエリア)

デジタル時代の新たな交通安全対策を推進

(データ活用例)

安全運転の意識づけ

自身の運転挙動とスコア分析結果を提供

危険エリアの安全確保

地域・学校と連携した見守り

事故の未然防止、機動的対策

危険エリアの取締・啓発（警察力の効率的配置）

テレマティクスタグによる交通データ取得イメージ

<ドライバー>

- ・Visual Driveアプリをダウンロード
- ・車のダッシュボードにタグを設置。自身の運転診断が可能

取付けがかんたん!

通信車載器は電池を内蔵しているため、アクセサリソケット等への配線が不要です。



スマートフォンと接続してサービスをご提供

通信車載器は、スマートフォンとBluetooth接続してサービスをご提供します。



■安全運転診断

過去の走行トータルスコアです。

直近の運転走行データが表示されます。

運転特性によりバッジを獲得できるので、自分の運転の得意・不得意がわかります。

【取得可能なデータ】

- ・急ブレーキ
- ・急ハンドル
- ・急加速
- ・スマホ利用

ランキングで、ご家族、ご友人と比較することができます。

徐々にブレーキ

運転特性により、自分に合った安全運転アドバイスが表示されます。

<県・警察>

走行データを基にしたエリア分析が可能
(混雑、危険運転箇所、スマホ利用などを把握可能)

マッピングイメージ

運転操作に関して得られたデータを地図上にプロット



出典：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社ホームページ

STEP0

アナログ

現金払い

来店要
現金手渡し
売上帳面記入

小売の場合

STEP1

デジタル化

ポスレジ

来店要
キャッシュレス
売上データ自動管理

STEP2

DX (デジタルトランスフォーメーション)

個人の嗜好に合わせた販売

(デジタルならではの)
行動履歴によるお勧め提案
購入販売実績による与信管理 (貸付等)

今回の取組

事故実績に基づく対処

ドライバーのリアルな
運転データをもとにした
(参考とした) 未然の対処